ある町の天気相談所

Vol.27
2020.3. 6

令和２年３月号

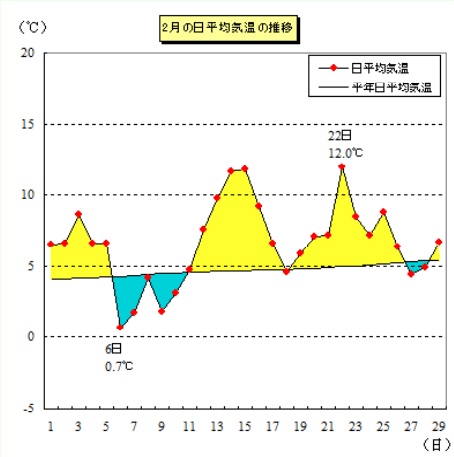
さくら開花予想

第２回発表の平和通りの開花予想は、３月22日開花、３月28日満開となっています。第３回の予想は３月13日に発表予定です。開花状況はホームページ等で随時お知らせしていきます。

昨年（2019 年４月 11 日）の様子

２月の気候

２月は、月平均気温が６・６度と１月についで、かなり高くなり、２月としては高い方から４位タイとなりました。周期的に天気が変わり、２月６日にはマイナス４・２度を記録しましたが最高気温は平年を６度前後上回る日もあるなど、寒暖の差が大きくなりました。月合計の降水量は41・５ミリと平年の７割ほどと少なくなり、日照時間は２００・５時間と平年より多くなりました。



１カ月予報（気象庁発表）

３月は、数日の周期で天気が変わり、３週目以降は平年と同様に晴れの日が多いですが、寒気の影響を受けにくく、気温は「高い」降水量は「平年並みか多い」日照時間は「ほぼ平年並み」の予想です。

天気相談所の一日（防災）

日常の業務として、予報と観測を繰り返し行っていますが、台風などが発生すると、防災のための予報や資料作成などの業務が追加されます。

○ 防災のための予報

基本的には日常の予報と変わりません。日常では、日立市を対象とした３日先までの予報を行っていますが、毎日、広い範囲の状況確認と、１週間先までの予想資料等の検討も行っているからです。防災のためにだけ行う予報もあります。それは、「降り始めからの総降水量は２００ミリ」、「積雪は５～10センチ」などの、具体的な数値の予報と、影響する時間や範囲などです。これらの予報を行うためには、普段の予報資料だけでなく、過去の同じような現象の時の観測結果、地形の違いや気圧配置の違いによる特徴などの、蓄積されてきた知識や経験も用いて行っています。

予想資料が更新されるたびに検討を行い、状況によっては、海外の予想資料なども見て、想定外をなくすようにしています。

天気用語の基礎知識

平年並み

気温などの観測結果について、平年値を計算する期間（現在は１９８０年～２０１０年）の30個を低い方から並べ、３つ（10個ずつ）に分け、これらのかたまりを、順に「低い」「平年並み」「高い」と読んでいます。降水量については、「少ない」「平年並み」「多い」となります。季節（春や冬など）、月、旬（上旬や中旬など）半旬（５日ごと）などごとの平均や合計を用いて計算していきます。

……神峰の山から……

季節は年を４つに、３か月ごとに分けており、３月からは「春」となります。今年の冬（令和元年12月から令和２年２月）は平均気温が７・２度と高い方から２位となる、暖冬となりました。

さくらの開花には冬の寒さが必要なのですが、（休眠打破といいます）暖冬の時は、休眠打破に影響があるのかどうかが、開花予想にも影響を与えてきます。今年の開花予測は、暖冬や開花直前の気温の予測が難しく、予想のたびに日付が変わり御迷惑をおかけしています。

様々な気象会社の開花予測についても差が出ています。